

新たな官庁施設の整備にあたっては、高齢者、障害者等を含むすべての施設利用者が、安全に、安心して、円滑かつ快適に利用できる施設を目指し、法令において求められる内容を満たすのみではなく、事業の特性に応じ、地域住民を含めた施設利用者等から意見聴取を行うユニバーサルデザインレビュー(UDレビュー)を実施。

UDレビューとは

○ユニバーサルデザインの視点に立ったニーズの把握、解決策の検討、評価、フィードバックといった一連の作業を施設整備の各段階において繰り返し行うことで、常に前の段階よりも高い水準を達成しようとするスパイラルアップの取組みのこと

UDレビューによるスパイラルアップのイメージ

【設計段階】

設計図、模型等を用いて確認



【施工段階】

現地での検証、実物大模型等による確認



UDレビューの実施方法

施設の特性に応じて、次の事項を検討し、利用者の意見を聴取

○どの段階で実施するか

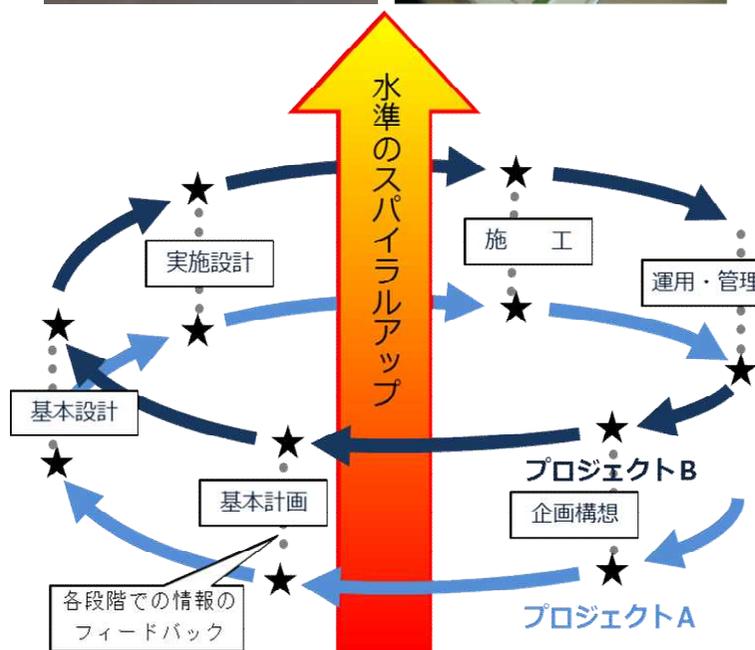
設計段階、施工段階、運営・管理段階

○どなたに参加いただくか

入居官署のほか、施設利用者、専門家、地方公共団体等

○どのような方法で実施するか

模型の活用、現地での検証等



【運用・管理段階】

完成施設の検証
→運用管理の参考、情報蓄積



■ UDレビューでの意見と対応の例

<意見の例>	<対応の例>
■ 車いす使用者用駐車施設	
【庇等】 <ul style="list-style-type: none"> 小さい庇のみでは、冬場に風や雪が吹き込む（積雪・寒冷地の例） 	<ul style="list-style-type: none"> 玄関まで連続した庇及び防風壁を設置
■ 多機能便所	
【設置設備】 <ul style="list-style-type: none"> 多様な利用に対応できるよう、設置設備にバリエーションを設けてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 右勝手用、左勝手用のほか、大型ベッド等の設備のバリエーションを設けた
【扉の開閉ボタン】 <ul style="list-style-type: none"> 力が弱いと押せない場合がある 	<ul style="list-style-type: none"> ソフトタッチボタンを採用
【手すり】 <ul style="list-style-type: none"> 手すりを認識しやすいよう、壁とは異なる色としてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 手すりに暖かみのある色調を採用しつつ、壁とのコントラストを確保
【乳幼児用イス】 <ul style="list-style-type: none"> 便器から遠い位置にあると子供も親も不安 	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児用イスを便器の近くに設置
【オストメイト対応】 <ul style="list-style-type: none"> オストメイト対応水洗器具周りに十分な物置スペースを確保してほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 配管スペース上等を活用しながらスペースを確保
■ 案内・表示	
【表示内容】 <ul style="list-style-type: none"> 多機能便所の付加設備について、便所出入口のほか、総合案内板等にも表示してほしい エレベーターホールに階数表示があると到着階がわかりやすい 	<ul style="list-style-type: none"> 総合案内板に各階の多機能便所の付加設備をピクトグラムにより表示 エレベーターホールのわかりやすい位置に階数を表示
【設置形態】 <ul style="list-style-type: none"> 廊下のサインは、手前からでも見やすく設置してほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 持ち出しタイプのサインを設置
【材質】 <ul style="list-style-type: none"> ガラス板は反射して見にくい 	<ul style="list-style-type: none"> 反射しにくい色合いの鉄板に材質を変更
【配色】 <ul style="list-style-type: none"> 文字・図と背景のコントラストが弱いと見にくい 各階案内図で事務室ばかりが目立ち、便所の位置がわかりづらい 	<ul style="list-style-type: none"> コントラストが確保できるよう文字等の色を選択 事務室との区分けを明確にして、便所等についてもわかりやすくなるよう配色を調整
【デザイン】 <ul style="list-style-type: none"> 複数方向に誘導するサインの表示内容がわかりづらい 	<ul style="list-style-type: none"> 案内方向ごとの表示内容がわかりやすいよう明確に区分

■ 移動空間（外部）における取組み事例

■ 段差がなく、見通しのよいアプローチ通路



- ・ゆとりのある幅員とし車路とは明確に分離

■ まちなみに配慮した憩いの空間



- ・まちなみに配慮しつつ、来庁者等の休憩用にベンチを設置



■ 多様な利用者に配慮した傾斜路



手すりは2段とし、端部には十分な水平部分を確保

- ・緩やかな勾配で十分な幅を確保
- ・滑りにくい床材を使用

傾斜部と平部の切替を認識しやすいよう色の異なる床材を使用

■ 雨天時等にも配慮した車いす使用者用駐車施設



- ・庁舎の庇と一体とすることにより雨に濡れないよう配慮



- ・積雪・寒冷地で、庇に加え、防風壁の設置により雪が吹き込まないように配慮
- ・分かりやすいペイント表示

■ 移動空間（内部）における取組み事例

■ 空間構成が明快な玄関ホール



- ・ 受付、エレベーターを玄関ホールの分かりやすい位置に設置

■ 十分な幅員の廊下、エレベーターホール



- ・ 不特定かつ多数の人が利用する廊下、エレベーターホールを幅180cm以上
- ・ 分岐点での案内表示、持ち出しサインの活用

■ 人的な対応が可能な場所までの誘導



車いす使用者の利用に配慮したカウンターの設置

インターホン

- ・ 視覚障害者誘導用ブロックで受付又はインターホンまで誘導
- ・ 施設の運用における人的な対応と連携

■ 身体障害者対応エレベーターの設置



- ・ 音声案内装置、車いす使用者が利用しやすい位置の操作ボタン等に加え、かご内に手すり、鏡を設置

■ 窓口事務室出入口の自動扉化



幅120cm以上の自動扉を設置

- ・ 窓口業務を行う事務室の出入口を幅120cm以上の自動扉

■ 緩やかな勾配の手すり付き階段



2段手すりの設置

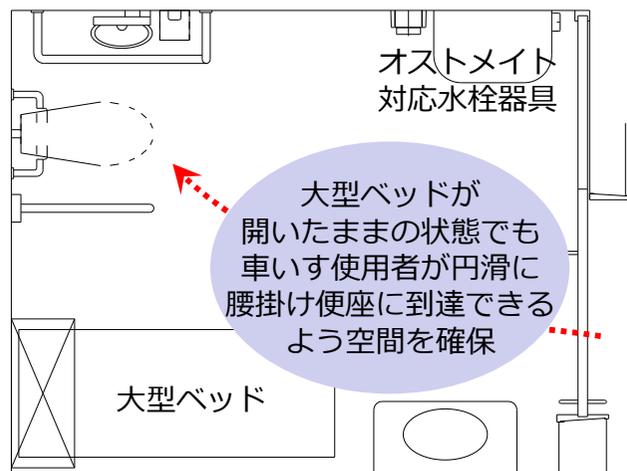
点字による階数表示

認識しやすい段鼻

- ・ 不特定かつ多数の人が利用する階段に2段手すり、点字表示を設置

■ 便所における取組み事例

■ 誰もが利用できる多機能便所



- ・不特定かつ多数の人が利用する施設には大型ベッドを設置
- ・多数の人が利用する便所にはオストメイト対応水栓器具を設置

■ 腰掛け便座廻りへの配慮



- ・手洗い器、背もたれ、フック、周囲と識別しやすい色の手すりの設置等



- ・多機能便所を複数設ける場合に、施設の特성에 応じた様々なバリエーション
 - ・右勝手用、左勝手用、両側可動手すり
 - ・大型ベッド、乳幼児対応設備等

■ オストメイト対応水栓器具廻りへの配慮



- ・荷物台、フック、ハンドシャワー型水栓、着替え台の設置等

■ 一般便所での配慮



- ・多機能便所の利用の集中を避けるため、施設の特性に 応じて、一般便所にも配慮

情報設備における取組み事例

分かりやすい総合案内板の設置



日本語に加え、英語による表記

点字付きの案内板の設置。触知しやすいよう設置角度に配慮。

便所の所在とともに、多機能便所に設置している設備を総合案内板で表示



多機能便所の設置設備の表示の例

インターホンの設置

- ・ 玄関ホールのわかりやすい位置に、官署名、室名、所在階等をわかりやすく表示した総合案内板を設置
- ・ 施設の特性に応じて多角的な方法により案内

目的地までの要所への案内の設置



- ・ 十分な大きさ、背景との色の明度・色彩・彩度の差の確保により認識しやすい案内
- ・ エレベーターホールでの現在階と所在官署を表示

多機能便所前の案内



設置している設備の案内



他階の便所の設備を併せて案内

- ・ オストメイト対応水栓器具、大型ベッド、乳幼児対応設備等を付加した場合は、便所の出入口付近のわかりやすい位置にその内容を表示

エレベーター内案内板の設置



- ・ 階数が多いなど施設の特性を考慮し、エレベーター内にも案内板を設置